

(ひのくに)  
九州ありあけ故郷の風景

～雲仙岳百景Ⅱ～

フォトコンテスト 募集要領



九州西部に広がる有明海——そこには全国一の面積を誇る広大な干潟、ブラウンからブルーまで場所や日によって変化する海水、そしてその先には・・・雲仙岳がぼっかり浮かんでいます。この風景は、有明海沿岸に“ひのくに（火の国、肥の国）”があった古代から続く、九州の“故郷の風景”と言えます。有明海沿岸にお住いのみなさん、そして訪れる旅人のみなさん、九州ありあけの故郷の風景をフレームに収めて、ぜひ応募しませんか？

〔1〕テーマ：「九州ありあけ<sup>(ひのくに)</sup>故郷の風景～雲仙岳百景Ⅱ～」（別添資料も参照）

平成 26 年度に国立公園「雲仙」の指定 80 周年と島原半島世界ジオパークの認定 5 周年を記念して実施した「島原半島の魅力～雲仙岳百景～フォトコンテスト」では、ほとんどが長崎県内からの応募作品でしたが、有明海をはさんだ対岸の佐賀県・福岡県・熊本県さらには鹿児島県からも応募がありました。応募の際のコメント欄からは、「毎日朝夕、雲仙岳の表情を眺めながら通勤しています」「仕事帰りに有明海と雲仙岳と夕日のセットを見に行きました」など、雲仙岳が対岸地域の“故郷の風景”の一部となっていることが垣間見られました。今回は、その点にフォーカスを合わせ、新たに写真コンテストを実施することにしました。

●今回は、このような九州ありあけ地域の故郷の風景（有明海と雲仙岳）として、以下のサブテーマを設けて写真を募集します。

サブテーマ① 干潟・平野と雲仙岳

佐賀県・福岡県の干潟や平野を前景、雲仙岳を後景とする作品を募集。

サブテーマ② 阿蘇山と雲仙岳

阿蘇山と雲仙岳を写した 1 枚の写真 or 両山を同じ場所で別々に写したペア写真を募集。

サブテーマ③ 天草諸島と雲仙岳

平成 26 年に国立公園指定 80 周年を迎えた雲仙岳と天草諸島（長島含む）を写した 1 枚の写真を募集。



●は、ラムサール条約湿地に登録された有明海の干潟です。左から、肥前鹿島干潟、東よか干潟、荒尾干潟です。

有明海をテーマとする「海フェスタくまもと」の期間中にスタートする本コンテスト。各地域ならではの風物越しに有明海・雲仙岳を眺めてみれば、地域の魅力が再発見できることでしょう。ぜひ、ありあけ地域の魅力PRに参加してみませんか？

## 〔2〕 応募資格

プロ・アマ不問。他の方の権利やプライバシーを侵害しないオリジナルの作品を、責任をもって応募できる方。

## 〔3〕 応募期間

2015年8月1日～2016年1月31日（2か月に1回、優秀作品を選考します）

## 〔4〕 応募作品

- ・〔1〕のテーマ（サブテーマ①～③）に沿って撮影された“地域の魅力を感じる写真”を募集。
- ・応募の際は、氏名、住所、電話番号、タイトル、撮影場所、撮影日時、撮影時コメントを書き添えてください。
- ・撮影時コメントには、“撮影時の思い”のほか、写真に写った雲仙岳の形状が“何の形に似ていると感じたか”（“左を頭にした亀の形に似ている”など）を記載してください。
- ・過去5年以内（平成22年8月以降）に撮影した写真であれば応募可能です。同一日・同一場所からの写真の応募は2枚（組）までとします。
- ・「島原半島の魅力～雲仙岳百景～フォトコンテスト」の応募作品は、応募対象外です。
- ・写真データの仕様：JPEG/PNG/BMP/GIF形式
- ・撮影時／撮影後の加工をする場合には、再現性のある範囲内での色調補正及びトリミングに留めてください。また、撮影対象に人や著作物が含まれる場合には、肖像権や著作権等の権利上の問題を解決した上で応募してください。なお、立入禁止のエリアからの撮影写真は不可とします。

## 〔5〕 応募方法

- ・EメールまたはCD-R等の電子記録媒体の郵送による応募が可能です。
  - Eメールの送付先：[RO-UNZEN@env.go.jp](mailto:RO-UNZEN@env.go.jp)（8MBまで受信可能）  
環境省雲仙自然保護官事務所 フォトコンテスト係
  - CD-R等の送付先：〒854-0621 長崎県雲仙市小浜町雲仙320  
環境省雲仙自然保護官事務所 フォトコンテスト係
- ・Eメール本文、またはCD-R等に添えたメモに上記の必要事項を明記してください。  
※CD-R等の返却は行いませんので、ご了承ください。

## 〔6〕 審査・発表

- 雲仙地域パークボランティア（雲仙岳を愛好する国立公園のボランティア団体）の協力を得て、選考委員会においてサブテーマごと、前期・中期・後期ごとに優秀作品として3作品程度を選考・決定します。再現性のない色調調整や画像合成、要素の追加・消去等が認められる作品は、審査対象外とします。  
審査のポイントは、「撮影地域に来たくなるような感動的なもの」とし、撮影時のコメント等も考慮に入れます。
- 審査結果の発表は、10月・12月・2月に環境省九州地方環境事務所の報道発表のページ等にて行う予定です。

## 〔7〕 応募作品に関する取扱

- 応募作品の著作権は撮影者に帰属しますが、環境省が観光PRや国立公園、ジオパークの紹介に使用（加工含む）することは予め了承願います。
- 環境省がメディア等の第三者に写真を提供する際は、環境省提供である旨の明記を条件とします。
- 優秀作品を含め、一定の画質等をクリアした応募作品は、今年度作成予定のウェブ上の電子写真集“雲仙岳百景”に収録し、公開するとともに、観光PR等に活用していきます（写真集ウェブ公開版には撮影者の氏名を表示）。

## 〔8〕 問い合わせ先

〒854-0621 長崎県雲仙市小浜町雲仙 320  
環境省雲仙自然保護官事務所 フォトコンテスト係（岸田・瀬戸口）  
TEL:0957-73-2423 FAX:0957-73-2587 [RO-UNZEN@env.go.jp](mailto:RO-UNZEN@env.go.jp)